

2019 年 7 月 11 日

2019 年 6 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は夏期講習用テキスト等、学参関連と株主総会関連の動きがあったが、全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

（前年比 95.8%）

巻取は生保関連と不動産チラシ関連に一部動きが見られたが、仕事の減少に歯止めがかからず前年を大幅に下回った。

（前年比 90.1%）

再生紙は官公庁関連の入札も在庫問題などで再入札になったり一般紙へ変更になる案件も多く、また価格の問題もあり前月に引き続き平判巻取ともに前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 78.4% 再生上質巻取 72.8% 再生上質計 75.9%）

（前年比 印刷用紙 A 94.4%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、株主総会関連、自動車、各企業カタログ等で動きがあったものの用紙供給不足による紙離れの影響か、全体的に仕事量が激減しグロス紙、マット紙とも前年を下回った。

巻取は生損保、不動産、株主総会関連、一部選挙関連の動きがあったものの品薄の影響もありグロス紙、マット紙とも前年を下回った。

（前年比 平判 91.5% 巻取 87.9 全体 90.7%）

<A3 コート>

株主総会関連、学習塾、量販店、不動産等で動きがあったもののチラシ案件が少なく巻取品の品薄の影響もあり平判、巻取とも前年を大きく下回った。

（前年比 平判 81.4% 巻取 81.0% 全体 81.1%）

<ノーカーボン紙>

生損保、官庁関連の動きも弱く新規案件の動きも見られず平判、巻取ともに前年を大きく下回った。

（前年比 平判 88.3% 巻取 85.7%）

<上質フォーム>

官庁、株式関連の特需は動いたが一般の動きが弱く前年を下回った。

（前年比 97.1%）

<包装用紙>

特殊両更は官公庁向け封筒、金融証券向け封筒で一部動きがあったものの全般的には依然動きが低調で昨年を下回った。

(前年比 83.7%)

軽包装は大手通販会社のキャンペーン用封筒の特需や生花店向け包装紙の需要が引き続き好調で昨年を上回った。

(前年比 121.1%)

片艶晒は生損保会社向け封筒でやや動きがあったものの低調な動きを脱せず昨年を下回った。

(前年比 88.7%)

両更晒は自治体向け封筒等で動きはあったものの、その他の用途での動きが殆ど見られず昨年を大きく下回った。

(前年比 78.8%)

その他包装では金融証券向け封筒で封筒用ケントに一部動きがあり昨年を上回った。

(前年比 111.2%)

包装紙合計では全般的に動きが低調で昨年を下回った。

(前年比 93.7%)

<板紙>

町場のコンバーターの動きが低調で夏季商品や食品、医薬、化粧品の動きも悪く POP など一部で動きはあったものの全体的には荷動きが低調で前年を下回った。

(前年比 90.0%)